

Course/1 夕陽が美しいクリシタンの里

～遠藤周作が魅せられた町～



さるくツ

クリシタン時代の記憶をたどってみよう!

黒崎・出津エリア最大の特徴であり最大の魅力は、クリシタンをはじめとする独自の歴史と文化を持ち、その文化が今も受け継がれているところ。黒崎・出津の両教会は、いずれも信徒達の多くの犠牲と汗の奉仕によって建てられた心の拠り所。また、牧野地区の山中にあるバプティスト屋敷跡は、クリシタン迫害時代、熱心に布教した日本人伝道士バプティストの隠れ家と伝えられ、隠れクリシタン時代を物語る貴重な史跡です。地名にも注目してみましょう。黒崎に子捨川(こすてごう)と呼ばれる所があります。

迫害時代、この地を治めていた大村藩は経済安定を計るため、人口増加を防ぐ策として長男を残し、その他の子どもの間引きを強制していました。子捨川の名は、この際、産から我が子を投げ落とした悲惨な出来事に由来しています。また同時代の黒崎海岸は、我が子を殺すことなく、自らの信仰を貫ける新たな定住地を五島に求めた海外の人々が命がけで船出した場所です。このように歴史を見守った場所へも足を運び、ぜひ周辺をさるくしてみよう。

10 遠藤周作文学館

遠藤氏の代表作「沈黙」は、外海を舞台に描かれました。この文学館は遠藤氏がクリシタンの里である外海の景観を気に入っていたことから、平成12年、夫人の協力を得て設立されました。敬虔なカトリック信者の側面が見える彼の生涯と足跡を辿った展示物、約2万5000点はどれも興味深いものばかりです。また、館内のレストラン「アンシャンテ」では、外海名物のド・ロ様そめんやバスタを味わうことができます。



11 道の駅 夕陽が丘そとめ

外海の魅力の一つが角力灘(さうなだ)の夕陽。穏やかな海が刻々と赤く染まってくる光景を見ようと、人々が集まり、晴れた日には五島列島をも見渡せるのがこの道の駅です。道路情報や観光情報が入手でき、休憩場所としても最適です。特産品の販売コーナーやレストランもあります。



1 黒崎永田湿地自然公園

湿地面積は約9.8ヘクタール。絶滅に瀕した生物も多く見られ、特に日本有数のトンボの生息地として高い評価を受けています。珍しい生物や植物を観察しながらの散策はおおすすめです。



■開館/9:00～17:00

2 黒崎教会堂

ド・ロ神父の指導で敷地を造成。信徒達が奉仕と犠牲の結晶として一つ一つ積み上げた煉瓦造りの聖堂は大正9年(1920)完成。簡素な構成が煉瓦の美しさを際立たせており、深い奥行の内部にステンドグラスが印象的です。付属する鐘楼は隠れキリシタンの偉業を顕彰して設置されました。



■見学/8:30～17:00 (ミサ等実施時は入場制限あり)
■見学料/無料

3 サン・ジワン 枯松神社 (市指定史跡)

ここは日本人伝道士バプティストの師であるサン・ジワン神父を祀るクリシタン神社です。江戸時代、黒崎の隠れクリシタンがここに密かに集まり、オラショ(祈り)を捧げ伝承してきた聖地で、祠の手前に「祈りの岩」という大きな岩が残されています。



神聖なる空気が漂う祠周辺

出津文化村内

4 外海歴史民俗資料館

外海の先人達の遺産や暮らしぶりを生き生きと展示。なかでもマリア観音など隠れクリシタンの資料は、他に例を見ないほど豊富です。

■開館/9:00～17:00
※ド・ロ神父記念館との共通入館券です。
■休館日/月曜、12月29日～1月3日
■入館料/大人300円、小中高生100円
■TEL.0959-25-1188

5 沈黙の碑

外海が遠藤氏の「沈黙」の舞台となったことになみ建立。「人間がこんなに哀しいのに主よ海があまりに碧いのです」と刻まれています。



出津文化村内

ド・ロ神父遺跡(国指定重要文化財)

6 ド・ロ神父記念館(国指定重要文化財)

旧いわし綱工場跡の建物はド・ロ神父の設計です。「ド・ロ版圖」や神父愛用のカレンダーなどゆかりの品が多数展示されています。

■開館/9:00～17:00
※外海歴史民俗資料館との共通入館券です。
■休館日/12月29日～1月3日
■入館料/大人300円、小中高生100円
■TEL.0959-25-1081

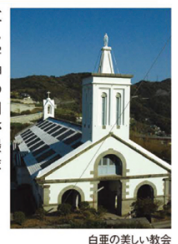
7 旧出津救助院(国指定重要文化財)

ド・ロ神父が住民を困窮から救うために創立。ここで織物やマカロニ・そめん製造などの技術を教えました。独自の工法で築いたド・ロ塙も必見です。

■開館/9:00～17:00 (日曜日、8月15日、11月7日、12月25日 11:00～17:00)
■休館日/月曜日、12月29日～1月6日
■入館料/大人300円、中学生200円、小学生150円
■TEL.0959-25-1002

8 出津教会堂(国指定重要文化財)

明治15年(1882)、ド・ロ神父の設計施工で建てられた教会。低く堅牢な造りは、台風の影響を避けるためです。鐘楼の鐘は神父がフランスから取り寄せたもので、朝夕に美しい鐘の音を谷間一帯に響かせています。近年、さまざまな原作の映画「解夏」の撮影が行われたことで話題になりました。



白亜の美しい教会

■見学/8:30～17:00 (ミサ等実施時は入場制限あり)
■見学料/無料
■TEL.0959-25-0428

9 ド・ロ神父の墓(野道クリシタン墓地)

ド・ロ神父が愛した多くの信徒達と共に眠る墓地。多くの人々が訪れ、祭典などが行なわれることもあり、入口に立派な墓碑が建てられています。



- 1 黒崎永田湿地自然公園 →徒歩3分
- 2 黒崎教会堂 →車で5分
- 3 サン・ジワン 枯松神社 →車で8分
- 4 外海歴史民俗資料館 →徒歩3分
- 5 沈黙の碑 →徒歩5分
- 6 ド・ロ神父記念館 →徒歩5分
- 7 旧出津救助院 →徒歩3分
- 8 出津教会堂 →車で3分
- 9 ド・ロ神父の墓 →車で3分
- 10 遠藤周作文学館 →徒歩3分
- 11 道の駅 夕陽が丘そとめ →徒歩3分

● AED設置場所 ● ①～⑩=約4時間30分コース (長崎市街地往復・見学時間含む)

感動エピソード

外海の人々の肉体と魂を救ったド・ロ神父

明治12年(1879)、外海地方の主任司祭として赴任したフランス人宣教師ド・ロ神父は、布教はもちろん、困窮を極めた暮らしを続ける人々を魂と肉体の両面から救うため、農漁両面に力を注ぎました。ゆかりの地を訪れると建築、製粉、搾油、パン、マカロニなどの製法、農機具、イワシ綱工場など、神父があらゆる知識と能力を持ち合わせていたことに驚かされます。また、神父が外海を支えた証である建物が点在する出津文化村以外にも、神父が開墾した農耕地や私財を投じて掘った井戸、農作業小屋などが残っています(大平地区)。それは外海の歴史を今に伝えると共に、深い人類愛を持って外海の人々に生涯の全てを捧げたド・ロ神父の偉大さを静かに物語っています。



さるく茶屋とは……
このマークがあるお店には、さるくマップや各種情報誌があります。トイレもご利用頂けます。